

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	温泉事業	担当者	地域経営課商工観光政策係
-------	------	-----	--------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／観光業の振興
関連する主な計画等	
根拠法	阿智村温泉条例
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	温泉利用者
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明 <input type="checkbox"/> 事業の終期 <input checked="" type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	屋神温泉の一番の売りである温泉を、安定的に配湯する。					
具体的取組	屋神温泉の温泉利用者から維持費、使用料収入により温泉掘削、施設整備、温泉供給の事業を行っている。 本年度、4号井のポンプ更新、水位計の設置を行った。					
実績・効果	安定した温泉の供給を図ることによって、温泉利用者が安心した経営ができ、屋神温泉の誘客に結びついている。 温泉配湯施設 26軒 温泉配湯量 598.5L/分 温泉使用料収入 34,310千円 温泉受湯権使用料 2,520千円					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	人件費	8,188	需用費	9,271	委託料	1,324
	工事費	18,641	負担金	3,016	積立金	4,596
	その他	739				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	274,652	39,358	45,775	36,951	36,951
	うち一般財源					
	うち補助金					
	うち個人負担					
従事職員 (人)	正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	屋神温泉にとって不可欠な事業であり、ニーズは高い	A
	手段、成果は妥当か	a	温泉の安定供給という点からは効果的である	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当である	
	村の関与は妥当か	a	妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか	温泉の安定供給に効果が得られている		A
効率性	コストの削減に努めたか	c	電気料の削減を検討したが、費用の面で断念した	C
	効率性を高める工夫はされたか	b	ポンプのインバータ設備の導入を検討	
公平性	受益者負担は適切か	ほぼ、温泉使用料のみで負担がされている		A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	安定供給を継続すること、今後の施設更新について検討することが必要である。 オゾン発生装置の保守が終了することによる装置の更新が課題となっている。
今後の取り組み	電気料の削減のため、インバータ設備の導入を検討。 温泉の殺菌設備について検討。